



DAIHATSU



2014年9月29日

(1/3)

ダイハツ 新型軽乗用車の技術概要を発表

ダイハツ工業（株）（以下、ダイハツ）は、2014年11月に発表予定の新型軽乗用車の技術概要を発表した。新型軽乗用車は、2013年の東京モーターショーにコンセプトカーとして出展した「DECA DECA（デカデカ）」をベースに開発を進めている。

ダイハツは、軽の本質をベースに車両特性に合わせた付加価値を追求し、軽自動車の可能性を拡大すべく、「もっと軽にできること」をキーワードに、日常用途はもちろん、レジャー用途など多用途に使える新ジャンルの軽自動車を開発。

驚きのパッケージアレンジとすることで、軽最大の室内空間^{※1}「ウルTRASペース」や、座って分かる見晴らしの良さ「ファインビジョン」などを実現した。

新型軽乗用車に採用する主な新技術は、以下のとおり

軽最大の室内空間^{※1}「ウルTRASペース」

- ◆軽最大の室内空間を1, 835mmの全高で実現
- ◆室内高は、軽自動車No. 1^{※2}の1, 455mm

座って分かる見晴らしの良さ「ファインビジョン」

- ◆目線の高さを1, 387mm^{※3}として、運転しやすい軽自動車を実現

高さを感じさせない安心・安全の基本性能「ファン&リラックスドライブコンセプト」

- ◆全高1, 835mmに対応した、高い車両安定性と乗り心地の良さ
- ◆直進安定性を高める空力フィンの採用
- ◆軽量化による重心高の抑制

圧倒的な荷室の使い勝手の良さ「ミラクルラゲージ」

- ◆大容量ラゲージアンダートランクの設定
- ◆リヤシート背面のスライドレバー設定や撥水加工シートの採用
- ◆充実したインパネ周りの収納

※1：ダイハツ調べ。（室内長×室内幅×室内高）2014年9月現在

※2：ダイハツ調べ。2014年9月現在

※3：JM50（日本人男性170cm）での寸法となります。

* 新型軽乗用車の技術概要 *

軽最大の室内空間「ウルトラスペース」

- ◆軽最大の室内空間を1, 835mmの全高で実現
 - ・全高1, 835mm、室内高は軽自動車トップの1, 455mmとして、大人4人がゆったりと乗車でき、レジャー使用時に大人が車内で着替えるときにも、窮屈に感じることなく着替えが可能な室内空間
 - ・地上からドア開口高までを1, 700mmとして、乗り降りの際に子供はかがむことなく、成人やお年寄りも腰を曲げずに、ラクな姿勢で乗り込むことが可能に

座って分かる見晴らしの良さ「ファインビジョン」

- ◆目線の高さを1, 387mmとして、運転しやすい軽自動車を実現
 - ・運転しやすい軽自動車を追求し、座って分かる「見晴らしの良さ」を実現。遠くまでしっかりと見通すことが出来るため、ドライバーが多く情報をキャッチでき、ゆとりある運転が可能
 - ・高速走行時も安心して運転できるように、車内での包まれ感を考慮したベルトライン高を設定

高さを感じさせない安心・安全の基本性能「ファン&リラックスドライブコンセプト」

- ◆全高1, 835mmに対応した、高い車両安定性と乗り心地の良さ
 - ・全高1, 835mmを実現すべく、サスペンションやボディ構造を進化し、高さを感じさせない操縦安定性や乗り心地の良さを実現。また上質な室内空間を演出すべく、高い静粛性を確保
 - ・フロントアブソーバーロッドやリヤアブソーバーのサイズアップなどによる高剛性化を行い、安定性を向上。さらにウレタンバンプスプリングの採用やスタビライザーの標準装備により、ロールを抑制し、操縦安定性と乗り心地を高い次元で融合した、安心感のある走行性能を実現
- ◆直進安定性を高める空力フィンの採用
 - ・空気の流れに着目し、ダイハツ車で初めて空力フィンを採用することで、直進安定性を向上
- ◆軽量化による重心高の抑制
 - ・ルーフパネルなどの板厚最適化や外板の樹脂化で、重心より上の部品を軽量化し、タントと比較して、全高85mmアップに関わらず、重心高は約10mmのアップにとどめ重心高を抑制

圧倒的な荷室の使い勝手の良さ「ミラクルラゲージ」

◆大容量ラゲージアンダートランクを設定

- ・約90Lの大容量ラゲージアンダートランクには、350ccのビール缶24本のビール箱が2箱積載でき、高い室内高と合わせれば、ベビーカーを縦に積むなど、リヤシートを畳むことなく、長尺物を積載することが可能

◆リヤシート背面のスライドレバー設定や撥水加工シートの採用

- ・荷室側からもリヤシートのスライド操作が可能なスライドレバーを設定し、利便性を向上
- ・シートは撥水加工のフルファブリックシートを採用し、さらにリヤシート背面は塩化ビニール加工で、水濡れや汚れも簡単に拭き取り可能

◆充実したインパネ周りの収納

- ・助手席前に6.6Lの大型インパネトレイを設定し、一眼レフカメラやタブレットなどを収納
- ・その他インパネセンターロアポケットや助手席シートアンダーボックスなど大小様々なポケットエリアを採用して、使い勝手の良さをさらに向上

(ご参考)

新型軽乗用車特設WEBサイトを10月1日からダイハツ公式HP上に開設予定

<サイトURL>

<http://www.daihatsu.co.jp/ultraspace>

お客様からのお問合せについては、最寄りのダイハツ販売会社または、ダイハツ工業（株）お客様相談室（Tel 0800-500-0182）にお願いいたします

以 上